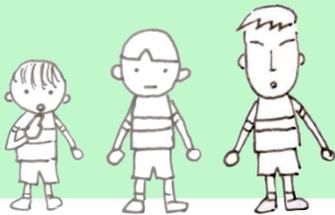
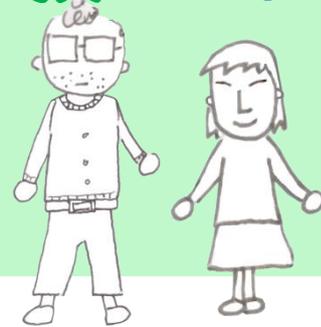


# 知的発達障害の家族の日々



3

大谷 多加志



## アール・ブリュット!?

Q:「コンクリートブロックに水性絵の具で色を塗るとどうなるか。」

答えは「普通に絵の具の色が付く」。そして、落ちない。

これがどのくらい一般的な知識なのかよく知らないけれど、私がこのことを知ったのはあまり一般的ではない経過からだった。

ある日、家に帰ると家の塀のコンクリートブロックがカラフルに色づいていた。塗ったのはもちろん弟。彼は、時に思いがけない創作活動を始めることがある。大抵のものは特に気にもせず流せるのだけれど、キャンパスが家自体となると、さすがに放っておけない。友達の間にも気になった。平屋の典型的な日本家屋に、LEGOのようなカラフルな塀（しかも素地はコンクリ）という奇抜な外観は看過できず、何とか元に戻そうと洗剤をつけ水をかけ必死でブラシでこすったが、びっくりするほど色は落ちなかった。

『水性絵の具なのに、落ちないんだ…』。諦めとともに、1つのどうでもよい知識が、私の中に根付いた。

よいか悪いか、色がとれないと諦めると、次第に気にならなくなった。周りも最初こそ『テトリスハウス』とかいっていたものの、すぐに飽きた。だから、中学、高校と進学して、新しい友人が家に訪れる時、自分のチェック機能の甘くなってい



ることに気づくことになった。塀は仕方ないとして、家の中はなるべく片付けていたのだけれど、ふと見ると壁に妙なオブジェが貼ってあったりする。一時彼の中で流行ったのが、折紙を対角線で丸めてテープで張り付けた謎のオブジェ。これが、家中のドアというドアの上に貼り付けてあった。暮らしていると存在すら忘れていたが、時にはドアの上にびっしりと並んだ折紙オブジェは、新鮮な眼で見ると奇妙ではあった。

大人になり、すっかりなりを潜めてしまったが、中学生くらいまでの弟には、唐突に始まる謎の創作活動があった。

## ビデオ!

Q:「VHSのビデオテープに、しつこいくらい重ね撮りを繰り返すとどうなるか。」

家にビデオがやってきたのは、私が小学校高学年の頃。

元々テレビ好きの弟は、好きな番組をビデオに撮って観るようになった。「ドラゴンボール」「ナースのお仕事」「志村けん」がお気に入りのラインナップ。リアクションが大きくてわかりやすいもの、展開が読みやすいものが好きだった。

また、放映当日に観るよりむしろ録画で観る方を好み、気に入った場面を何度も繰り返し再生していた。これもおそらく、初見でどう話が展開するかわからない放送当日よりも、話の先がすっかりわかって安心してから観る録画の方が好きだったのだろうと思う。

ただ、ビデオには依存的にもなった。日中の大半の時間をビデオを観て過ごす日もあったし、日常の言葉がベジータ化（通常語：『何してるの?』 → ベジータ語：『おい!何をやってるんだ貴様』に変換）もしていた。弟は朝起きるなりビデオを観はじめるので、襖一枚隔てた先で寝ていた私は、早朝からドラゴンボールのハイテンションなバトルの音声で起こされるという、少々迷惑な目に遭っていた。

そのようにひっきりなしにビデオを観ている弟なので、お気に入りの番組の放送

直前まで録画したビデオを観ていることも珍しくなく、時には放送が始まってから慌てて録画スイッチを押すこともあった。この時は、たいてい直前まで見ていたビデオテープに上書きする形で録画される。

結果、1本のビデオテープに、ドラえもんやドラゴンボール、バカ殿…など、多様なコンテンツが盛り込まれることになった（もちろん、突然録画するのでそれぞれの話の途中でもお構いなしに別の番組に変わる）。



そんなことを繰り返していると、2つの現象が確認されるようになった。

#### ①通常の再生と早送りとで、表示される番組が違う。

再生するとドラえもんなのだが、早送りにするとその前に録画していたドラゴンボールの映像が早送りで流れる。ただ、早送りをやめるとまたドラえもんに戻る。なお、これは3倍速で録画した場合に限り、通常録画では起きない。

#### ②録画された映像と音声分離する

映像のみが録画され、音声が入らないということが起こるようになった。さらに何かの偶然が重なったのか、映像は最後に録画されたものだが、音声は1つ前に録画されたものになる、という現象も起きた。ドラゴンボールのフリーザ様の自信満々の表情に合わせ、当時の日清焼そば UFO の CM のセリフ『大盛り。嘘じゃないって』が重なるという奇跡の作品も生まれた。

今は DVD と HDD 録画になり、すっかり便利になったが、これほど入れ込む番組はないようだ。強烈にはまり込むことがよいのか悪いのかは、どちらとも言えないが、力を注ぐものがない今の弟は、どこか寂しそうだ。

弟が作ったドラゴンボールとやきそば UFO のアテレコビデオは、友人に見せたりもして、一時周辺でウケをとっていた。弟は、人が普通あまりしないことをする。それはたいてい無駄なことで、時には困ったことでもあり、何か役に立つものを生むことはまずなかったけれど、記憶には残った。